公表　事業所における自己評価結果

事業所名	(株)ゆうゆうヘルプサービス　放課後等デイサービスわいわい倶楽部

公表日　令和　8 年　10　月

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		壁側に棚を設置したことで活動スペースが増えた。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		利用定員に合わせ職員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			現在必要がない状態。今後必要に応じて対応していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		日々の清掃作業、おもちゃ等の消毒作業を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	4	間取りの関係で個別室はないが事務所を一時的に使用することも出来る。	1フロアなので難しい点もある。簡易的にしきりになるような物を準備するなど検討。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		会議にてヒヤリハット事例や振り返り情報の共有をしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		定期的にアンケートをお願いしている。年2回(3月・9月）。意向に沿えるよう業務改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		意見しやすい環境を心掛け気軽に話し合える場（ランチミーティング）を定期的に行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				現状行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		研修内容にあった職員が参加。研修内容を職場内研修として実施している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページ内で公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		モニタリング面談を実施。保護者様の意向、本人の希望を計画書に盛り込んでいる。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		毎月の会議で参加職員で共有検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6		毎月の会議で職員が内容を共有。支援に活かしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		適切なツールを利用。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			家族支援、地域支援・連携、移行支援を計画書に追加。今後も留意していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		スタッフが意見を出し合い作成。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		マンネリ化しないように、季節感も味わえるようなプログラムになるように。	年齢に合わせた取り組みも増やしていきたい。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別で集中して行う活動、集団で楽しむ活動などそれぞれで学べるソーシャルスキルをバランスよく組み合わせ計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		送迎時間もスタッフ全員が確認し当日の変更情報や支援の内容も打ち合わせてしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	5	1	時間的に難しい時は翌日に共有。 急ぎの連絡（ヒヤリハット等）はすぐに行うように徹底している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		その日の記録(日報）にて支援内容の確認など改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		モニタリング会議でその子の最近の様子、支援に対しての結果等話し合っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6			理解がさらに深まるように。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		子供たちで考え行動することを遊びの中で取り入れられるよう支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		子供の状況に精通したスタッフが参加。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			現状保護者の方より情報を提供してもらっている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		先生方と送迎時に話をしたり、必要な時は電話で連絡をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	保育園や児童発達事業所への訪問や電話で情報提供をお願いしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		担当者会議に参加している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	5	1	必須研修のほかに各々の立ち位置に合った研修を受けている。	自発児童発達支援センターとの連携は現状行っていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	公園などでの少人数からの交流（知らない子がいたら声を掛けて一緒に遊んでみたり!!）地域イベントでの交流を試みたい。（わいわいフェアに来てくれた同じ学校の子に話しかけてみたり!!）本人たちが望む形で	制度や目的の違い（支援と自由活動）や交流での相互作用の不明確から行動に移すのが難しいと判断している状況です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		現状機会が持てない状態。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		毎日の送迎時保護者様に今日の出来事を伝えるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	保護者会にてペアレントトレーニングについてお話をさせていただいている。	保護者さまへの聞き取りによりニーズ調査を行い支援の必要性について検討していく。
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		半年に一度面談の機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	6		計画書を見て同意署名を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		モニタリング面談以外でもご要望があれば面談対応している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	保護者会にてきょうだい児も参加出来るようなレクレーションを実施予定。	保護者会（ダンスレク）に参加数名。 保護者さまへの聞き取りによりニーズ調査を行い支援の必要性について検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	契約時に説明し周知を促している。連絡があった場合聞き取り等迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月お手紙配布。公式LINEにて迅速な連絡を心掛けインスタグラムやホームページで活動内容の見える化を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		SNS等厳重に編集、個人を特定できる廃棄書類はシュレッダー処理しその他個人情報書類は鍵付き棚に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		毎日の送迎時や連絡帳にて連絡。インスタグラムなどで活動内容見ていただけるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	事業所として地域でのイベント（マルシェ キッチンカー等を招集）開催が復活。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		年二回の蔓延防止訓練の実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPを策定。年二回自然災害時の訓練も実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		保護者様からの連絡をスタッフ全員で共有。発作時には時系列にまとめた文書を保護者様へ提供。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		食物アレルギーの利用者が現状いない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画に沿った訓練、設備備蓄等の点検も実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		毎月の会議で共有。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		研修に参加し毎月の会議でマニュアルの読み合わせ、議題を作成し話し合っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			身体拘束が必要な利用者なし